

## 「精神医学」特集・シンポジウムテーマ一覧

1974年

16 巻6号,日本の精神医療についての4つの意見

16 巻 7・8 号,向精神薬療法の現状と問題点

16 巻 11 号,現代における精神医学研究の課題

1975年

17 巻 13 号,精神医学における日本の特性

1976年

18 巻6号,在宅精神医療—日常生活における指導と治療

18 巻 12 号,近代日本の宗教と精神医学

18 巻5号,大都市の病理と精神障害

1977年

19 巻4号,精神分裂病の精神生理学

19 巻8号,在宅精神医療第2集 社会復帰とその周辺

19 巻 12 号,青年期の精神病理

19 巻2号,生のリズムとその障害

19 巻 11 号,こころとからだ

1978年

20 巻 10 号,精神分裂病の治療について

20 巻 12 号,精神鑑定

1979年

21 巻2号,妄想

21 巻5号,創刊20周年記念特集

21 巻6号,創刊20周年記念特集(2)

21 巻7号,精神分裂病の遺伝因と環境因

21 巻8号,老人の精神医学

21 巻 11 号,精神分裂病の生物学

1980年

22 巻1号,幻覚

22 巻2号,向精神薬をめぐる最近の諸問題

- 22 巻5号,睡眠研究—最近の進歩
- 22 巻7号,Brain Function Test へのアプローチ
- 22 巻8号,思春期の精神医学的諸問題
- 22 巻 10 号,日本精神医学と松沢病院
- 22 巻 11 号,Butyrophenon 系抗精神病薬の臨床精神薬理学
- 22 巻 12 号,躁うつ病の生物学

#### 1981年

- 23 巻7号,てんかんのメカニズムと治療
- 23 巻 10 号,失行
- 23 巻 11 号,社会精神医学と機能性精神病
- 23 巻 11 号,アジアにおける精神衛生問題

#### 1982年

- 24 巻2号,リチウムの臨床と基礎:最近の話題
- 24 巻4号,視覚失認
- 24 巻 10 号,精神科診療所をめぐる諸問題
- 24 巻 12 号,アルコール依存症の精神医学

#### 1983年

- 25 巻2号,薬物と睡眠をめぐって
- 25 巻3号,精神医学における病態モデル
- 25 巻4号,聴覚失認
- 25 巻8号,児童精神医学の現状と将来
- 25 巻 10 号,少年非行の心理と病理
- 25 巻 12 号,カルバマゼピンの向精神作用

#### 1984年

- 26 巻1号,精神疾患に対する神経内分泌的アプローチ
- 26 巻2号,DSM—Ⅲ—その有用性と問題点
- 26 巻7号,側頭葉障害における言語症状

#### 1985年

- 27 巻2号,睡眠時無呼吸症候群—その病態と臨床
- 27 巻5号,精神分裂病の成因と治療—その生物学的アプローチ
- 27 巻6号,前頭葉の神経心理学
- 27 巻 12 号,摂食障害の心理と治療

1986年

28 巻2号,現代の子供—心身の発達とその病理

28 巻 11 号,脳の働きと心—大脳の機能をめぐって

1987年

29 巻1号,老年精神医学

29 巻 12 号,躁うつ病とセロトニン

1988年

30 巻3号,精神医学—最近の進歩(1)

30 巻4号,精神医学—最近の進歩(2)

30 巻6号,地域ケアと精神保健

30 巻9号,世界の精神科医療の動向

30 巻 11 号,痴呆とパーキンソニズム

1989年

31 巻1号,サーカディアンリズム—基礎から臨床へ

31 巻6号,現代社会と家族—諸病態との関連から

31 巻 10 号,精神障害者の責任能力

1990年

32 巻3号,向精神薬の見逃されやすい副作用と対策

32 巻6号,精神分裂病の生物学的研究

32 巻8号,精神疾患の現代的病像をめぐって

32 巻 12 号,「うつ」と睡眠

1991年

33 巻2号,精神科領域におけるレセプター機能の研究の進歩

33 巻 12 号,不安の病理

1992年

34 巻3号,境界例の診断と治療

34 巻8号,薬物依存の臨床

34 巻 12 号,精神科領域におけるインフォームド・コンセント

1993年

35 巻2号,加齢に関する精神医学的な問題

- 35 巻4号,現代日本の社会精神病理  
35 巻8号,精神障害者の権利と能力ー精神医学的倫理のジレンマ

1994年

- 36 巻1号,精神科治療の奏功機序  
36 巻5号,精神疾患の新しい診断分類  
36 巻6号,精神医学と生物科学のクロストーク  
36 巻 12 号,アルツハイマー型痴呆の診断をめぐって

1995年

- 37 巻1号,分裂病者の社会復帰ー新しい展開  
37 巻3号,阪神・淡路大震災ー現場からの報告  
37 巻8号,外来精神医療の現状と課題

1996年

- 38 巻5号,精神病理学の方法論ー記述か計量か  
38 巻 11 号,精神医学における分子生物学的研究  
38 巻 12 号,痴呆の薬物療法の最前線ー向知性薬の臨床と基礎

1997年

- 39 巻5号,学校精神保健ー教育との連携の実際  
39 巻8号,スーパービジョンとコンサルテーションー地域精神医療の方向  
39 巻 11 号,精神科における合理的薬物選択アルゴリズム

1998年

- 40 巻2号,精神病像を伴う躁うつ病および分裂感情障害の位置づけ  
ー生物学的マーカーと診断・治療  
40 巻5号,アジアにおける最近の精神医学事情  
40 巻8号,災害のもたらすものー阪神・淡路大震災復興期のメンタルヘルス  
40 巻 12 号,がん,臓器移植とリエゾン精神医学ーチーム医療における心のケア

1999年

- 41 巻1号,記憶障害の臨床  
41 巻6号,治療抵抗性の精神障害とその対応  
41 巻 12 号,児童精神科医療の課題

2000年

- 42 巻2号,新しい精神医学の構築ー21世紀への展望

- 42 卷3号,精神医学号,医療の将来
- 42 卷5号,精神疾患の発病規定因子
- 42 卷 10 号,職場の精神保健
- 42 卷 12 号,ライフサイクルと睡眠障害

#### 2001年

- 43 卷2号,今号,なぜ病跡学か
- 43 卷5号,薬物依存者に対する精神保健・精神科医療体制
- 43 卷6号,社会構造の変化と高齢者問題
- 43 卷 10 号,精神分裂病の心理社会的治療の進歩
- 43 卷 11 号,青少年犯罪と精神医学

#### 2002年

- 44 卷3号,新しい向精神薬の薬理・治療
- 44 卷6号,司法精神医学の今日的課題
- 44 卷7号,WPA2002横浜大会に期待する
- 44 卷8号,精神疾患と認知機能
- 44 卷 11 号,精神疾患の脳画像解析と臨床応用の将来
- 44 卷 12 号,WHO精神保健レポートと日本の課題

#### 2003年

- 45 卷3号,ひきこもりの病理と診断・治療
- 45 卷4号,新医師臨床研修制度の課題—求められる医師像と精神科卒後教育の役割
- 45 卷6号,統合失調症とは何か—Schizophrenia 概念の変遷
- 45 卷8号,痴呆性疾患の最近の動向—臨床医の立場から
- 45 卷 10 号,新医師臨床研修制度における精神科研修はどうあるべきか
- 45 卷 11 号,ICFと精神医学
- 45 卷 12 号,統合失調症と認知機能—最近の話題

#### 2004年

- 46 卷1号,臨床心理技術者の国家資格化についての主張
- 46 卷2号,神経内科専門医の新たな認定制をめぐって
- 46 卷5号,PTSDをめぐって
- 46 卷6号,精神科医療における危機介入
- 46 卷8号,精神障害治療の新展開
- 46 卷8号,心神喪失者等医療観察法の論点をめぐって

- 46 巻 10 号,精神科医療における介護保険制度
- 46 巻 12 号,精神科専門医に求められる精神療法

#### 2005年

- 47 巻2号,時代による精神疾患の病像変化
- 47 巻3号,心療内科と精神科の住み分け
- 47 巻6号,メチルフェニデートの有用性と有害性をめぐって
- 47 巻8号,リエゾン精神医学の現状と課題
- 47 巻9号,精神科における医療安全管理
- 47 巻 11 号,電気けいれん療法
- 47 巻 12 号,精神医療システムの改革:その理念とエビデンス

#### 2006年

- 48 巻3号,災害精神医学の10年－経験から学ぶ
- 48 巻5号,MCIとLNTDをめぐって
- 48 巻6号,オグメンテーション療法か号,多剤併用療法か
- 48 巻7号,操作的診断基準の有用性と限界をめぐる今日の問題
- 48 巻9号,新医師臨床研修制度に基づく精神科ローテート研修の評価
- 48 巻 11 号,認知症のBPSDに非定型抗精神病薬を使用すべきか否か
- 48 巻 12 号,気分障害治療の新たな展開

#### 2007年

- 49 巻1号,児童思春期の攻撃性・衝動性の理解と援助－ライフサイクルの視点から考える
- 49 巻3号,統合失調症と環状障害の補助診断法の最近の進歩
- 49 巻5号,睡眠と精神医学:「睡眠精神医学」の推進
- 49 巻6号,発達障害に関連する諸概念と診断基準について
- 49 巻7号,レビー小体型認知症をめぐって
- 49 巻9号,「緩和ケアチーム」－精神科医に期待すること、精神科医ができること
- 49 巻 11 号,ストレスと精神生物学－新しい診断法を目指して
- 49 巻 12 号,労災適用の問題

#### 2008年

- 50 巻1号,精神医学的コミュニケーションとは何か－精神科専門医を目指す人のために
- 50 巻3号,精神疾患に対する早期介入の現状と将来
- 50 巻6号,疲労と精神障害－ストレス-疲労-精神障害について

50 卷7号,成人期のアスペルガー症候群・1

50 卷8号,成人期のアスペルガー症候群・2

50 卷 11 号,医療観察法の見直しに向けて

50 卷 12 号,ACTは日本の地域精神医療の柱になれるか？